

# 平成28年度 第2回 浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 次第

日 時 平成29年2月1日(水)  
15:00～16:00

場 所 本庁舎4階 政策会議室

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 議 事

### (1) 報告事項

- ①平成27・28年度の検討経緯について
- ②まちづくり強化方針に基づく事業の進捗状況について
- ③成長・発展プランの達成状況について
- ④成長・発展プランの平成28年度までの総括と平成29年度以降の推進の方向性について

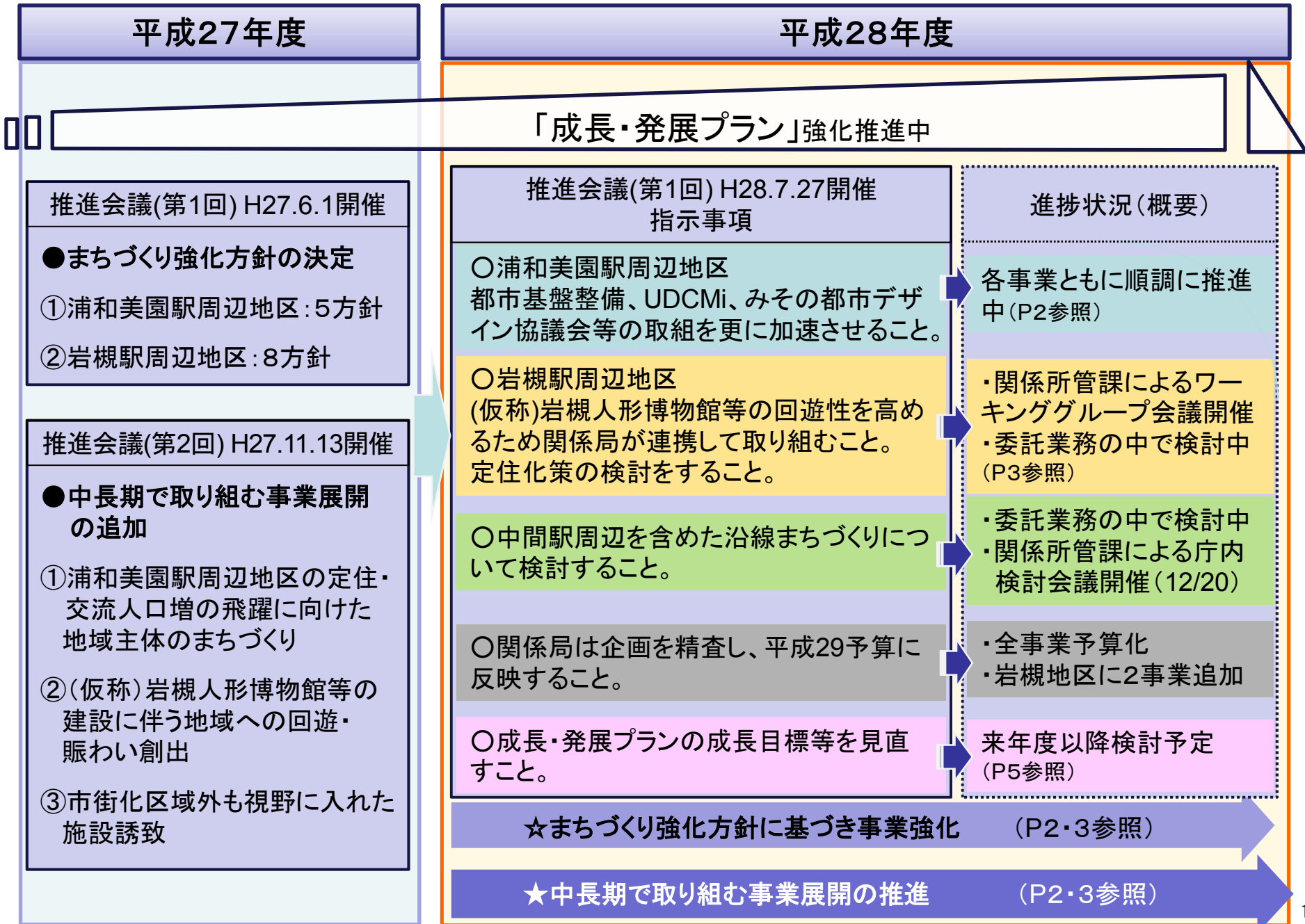
### (2) 議題

- ①浦和美園駅周辺地区の定住・交流人口増について
- ②岩槻駅周辺地区の定住・交流人口増について

### (3) その他

## 4 閉 会

# (1)平成27・28年度の検討経緯について



## (2) まちづくり強化方針に基づく事業の進捗状況について

### ◆ 浦和美園駅周辺地区

#### 1 都市基盤の整備

○定住人口H29.1.4現在で7,531人となり、順調に増加

##### ① 土地区画整理事業進捗中



##### ② 保留地処分



(H28年度末未完成) (H28年度末入居開始予定) (H28年度より順次入居)

- ・UR施行地区は、保留地をH30年度までに売却予定
- ・浦和東部第一地区は保留地をH33年度までに売却予定

○地権者、住民、企業、大学等で組織される「みその都市デザイン協議会」によりまちの規範となる「みその都市デザイン方針」を策定中 (H29年4月公表予定)

#### 2 UDCMiによるブランド化



- 共通プラットフォームさいたま版を活用した「(仮称)みその地域ポータルサイト」を開発 (H28年7月よりサービスの実証開始)
- みその健康度向上プロジェクトの実施
- みそのいちの開催
- マルチ・モビリティ・シェアリング実証実験の実施予定



中長期の取組である「定住・交流人口増の飛躍に向けた地域主体のまちづくり」については、上記の「みその都市デザイン協議会」、「UDCMi(美園タウンマネジメント協会)」を中心に着実に推進中



#### 3 子育て支援機能の整備

- ① 小・中学校  
浦和東部第二地区に小・中学校建設 (H31年度開校予定)
- ② 保育所  
浦和美園駅周辺に保育所を2箇所整備中(両保育所はH29年4月開所予定)

#### 4 関係部局、関係機関等と連携した施設誘致の実現

- 教育機関・医療施設誘致を推進中
- 民有地において商業施設等が立地



#### 5 SR等の民間企業と連携したイベントの実施

○H28年10月22日に浦和美園まつり&花火大会 (約3.1万人) 及び日光御成道 美園 大門まつり (約5千人)を 同日開催



## ◆ 岩槻駅周辺地区

- 1 旧岩槻区役所敷地の活用・賑わい創出
- 2 回遊性を高める環境整備

1 人形博物館イメージ



2 裏小路イメージ



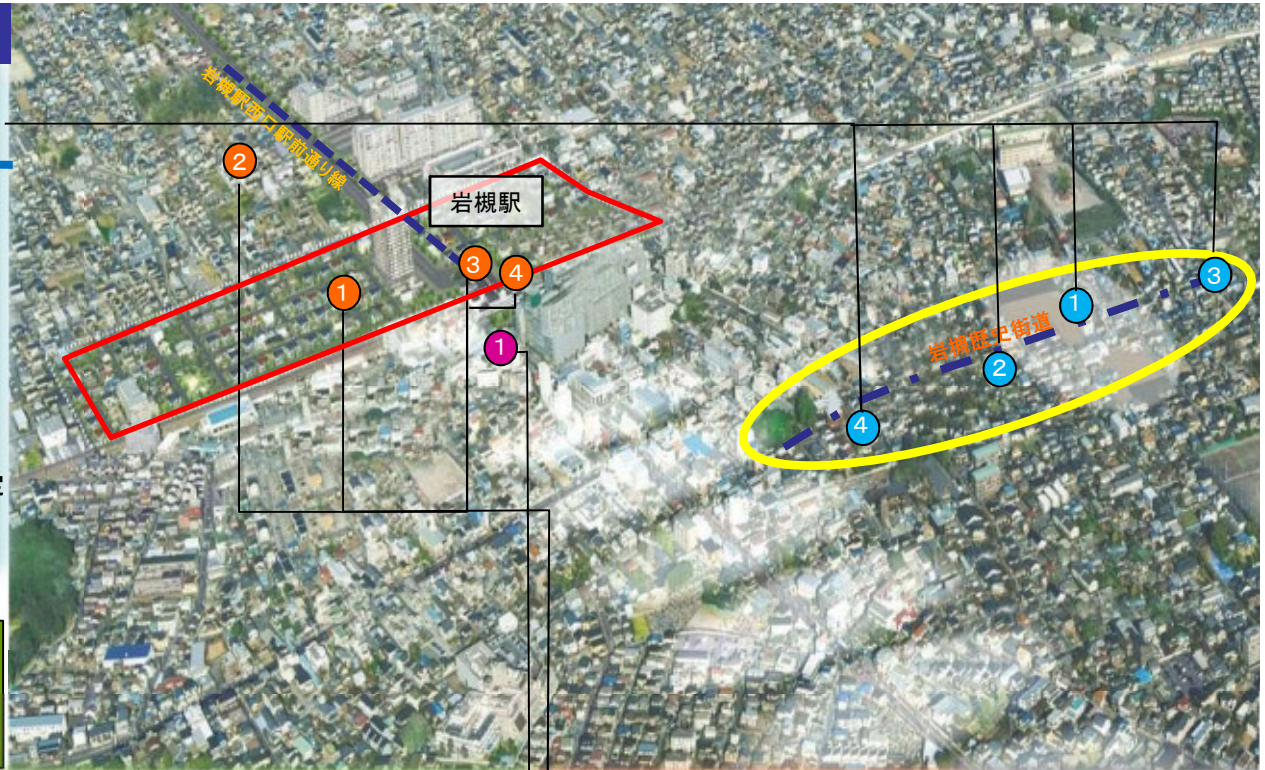
時の鐘



遷喬館

- (仮称)岩槻人形博物館+賑わい交流施設がH31年度完成予定
- 地元組織「裏小路まちなみづくり協議会」が主体となりH28年度末にまちなみルール素案を取りまとめる予定

中長期の取組である「(仮称)岩槻人形博物館等の建設に伴う地域への回遊・賑わい創出」については、上記の裏小路などの歴史街道事業を進めるとともに、「岩槻駅周辺地区にぎわい創出事業」により推進



## 3 既存イベントの改善



ふれあいウォーキング  
(岩槻駅東口出発)



鷹狩り行列



いわつきマルシェ  
In目白大学

- 日光御成道ふれあいウォーキング
  - ・高齢者や子供も参加できるようにコースを短縮
  - ・4年目を迎え、逆コースとした(岩槻⇒浦和美園)
- 岩槻鷹狩り行列
  - ・行列に市外の方の参加も可能とした
  - ・外国人による祝賀の舞を披露
- いわつきマルシェIn目白大学
  - ・目白大学の学生が健幸ブースを設け、来場者を対象にマッサージ、健康指導等を実施
- 城下町岩槻歴史散策
  - ・大宮区の方を対象に散策を実施
  - ・今後も他区に対象を広げる予定



## 4 外国人観光客に対応した方策の追加

- 岩槻、美園などを多言語対応重点エリアと定め、エリア内の現況調査等を実施中
- オリ・パラを見据え、岩槻のPR方法や受入体制の強化などを検討(「岩槻駅周辺地区にぎわい創出事業」により推進)

## 5 施設誘致

- 宿泊施設や、商業施設などの民間企業による施設立地予定



中長期の取組である「市街化区域外も視野に入れた施設誘致」については、関係所管課の意見をもらい、沿線のまちづくり方針を策定中

## 6 都市基盤の整備



岩槻駅西口土地区画整理事業



岩槻駅西口駅前通り線



岩槻駅舎(東口)



観光案内所(イメージ)

- 岩槻駅西口土地区画整理事業、岩槻駅舎(観光案内所含む。)整備推進中
- H28年度に地権者を対象とした土地活用セミナーを開催予定

## 7 コンパクトシティに向けた計画的誘導

- 基礎的調査を踏まえた立地適正化に係る検討を実施中

## 8 定住化に向けたインセンティブ

- 具体的な方策を検討中

※今年度の取組としてウェブサイトに住民のコラム、定住促進に繋がる市の施策を掲載

### (3) 成長・発展プランの達成状況について

| 地区      | 評価指標 | 基準値<br>(H23年度)  | H25年度<br>実績 | H26年度<br>実績 | H27年度<br>実績 | H28年度<br>実績(推計) | 概ね5年後の<br>目標値<br>(H29年度目標値) |                                |
|---------|------|---|-------------|-------------|-------------|-----------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 浦和美園駅周辺 | 定住人口 | <br>8,000<br>7,000<br>6,000<br>5,000<br>4,000<br>(単位:人) |             |             |             |                 | 約 4千人超増<br>(約 8,100人)       |                                |
|         |      |   |             |             |             |                 |                             | 交流人口                           |
|         | 交流人口 | 教育施設<br>学生  | —           | 施設誘致推進中     |             |                 |                             | 約 1千人/日超増                      |
|         | 交流人口 | イベント<br>開催  | 約 424千人     | 約 339千人     | 約 399千人     | 約 432千人         | 約 436千人                     | 年約 30千人超増<br>(約 454千人)         |
|         | 交流人口 | スポーツ<br>振興  | 約 29千人      | 約 34千人      | 約 35千人      | 約 38千人          | 約 41千人                      | 1試合あたり<br>約 13千人超増<br>(約 42千人) |
| 岩槻駅周辺   | 交流人口 | 観光機能<br>拠点  | —           | 拠点施設事業推進中   |             |                 |                             | 約70千人超増                        |
|         | 交流人口 | イベント<br>開催  | 約 451千人     | 約 459千人     | 約 504千人     | 約 492千人         | 約 460千人                     | 約 30千人超増<br>(約 481千人)          |

※交流人口については、平成28年11月末時点の実績を踏まえH28年度値を推計

## (4) 成長・発展プランの平成28年度までの総括と平成29年度以降の推進の方向性について

### ①平成28年度までの総括

浦  
和  
美  
園

- 土地区画整理事業等の都市基盤整備が進み定住人口は増加
- 施設誘致は推進中。民有地では商業施設等の立地が進捗。現在、医療施設や大学・大学院等の誘致推進中
- イベント、スポーツ振興による来場者は増加傾向

岩  
槻

- 拠点施設((仮称)岩槻人形博物館等)は平成31年度末完成に向け事業推進中
- 新規イベントの開催、既存イベントの改善等を実施。しかし、天候等により大規模イベントの来場者数が減少傾向  
(岩槻まつり: H26年度約157千人→H27年度約125千人→H28年度約100千人、  
岩槻花火大会: H26年度約50千人→H27年度約60千人→H28年度約40千人)



### ②平成29年度以降の推進の方向性

- 浦和美園駅周辺地区については、**順調な流れ**を更に**加速**させる
- 岩槻駅周辺地区については、**交流・定住人口増**に向けて方策を継続的に検討し実施する
- 成長目標が平成29年度までのため**目標やスケジュールを見直し、プランを改定**する

## 平成 28 年度 第 2 回浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 議事概要

1. 日 時：平成 29 年 2 月 1 日（水） 15：00～16：00
2. 会 場：さいたま市役所 4 階 政策会議室
3. 出席者：（座長）清水市長、（副座長）遠藤副市長、日野副市長、本間副市長  
（委員）技監、都市戦略本部長、都市戦略本部理事、スポーツ文化局長、  
環境局長、経済局長、都市局長、建設局長、見沼区長、緑区長、岩槻区長

### 4. 議事概要

#### （1）あいさつ（座長）

- ・浦和美園～岩槻地域の成長・発展については、全庁的な連携体制のもと「成長・発展プラン」が、着実に推進されているものと感じている。
- ・浦和美園では、都市基盤の整備をはじめ、「アーバンデザインセンターみその」、「みその都市デザイン協議会」など地域主体の新たなまちづくりが進展している。
- ・岩槻では、昨年 5 月に岩槻駅西口が開設され、今年度中には、観光案内所と併せて駅舎が完成する。また、平成 32 年のオリンピック・パラリンピックまでに、（仮称）岩槻人形博物館とにぎわい交流施設も完成する予定となっている。
- ・本日は、一昨年策定した、「まちづくり強化方針」に基づく事業の進捗状況や課題を確認し、地域の更なる成長・発展に向け議論をしたい。

#### （2）事務局説明

- ①平成 27・28 年度の検討経緯について
  - ②まちづくり強化方針に基づく事業の進捗状況について
  - ③成長・発展プランの達成状況について
  - ④成長・発展プランの平成 28 年度までの総括と平成 29 年度以降の推進の方向性について
- を一括して説明。

#### （3）議事に関する意見交換

##### ■浦和美園駅周辺地区について

- ・浦和美園駅周辺地区では 4 地区で区画整理事業を行っているが、UR 施行の浦和東部第二、岩槻南部新和西地区では本年度を持って事業終了、2 月に換地処分予定。
- ・市施行の浦和東部第一地区は昨年度末で 68.2%の進捗率。オリンピックに向けスタジアムにアクセスする箇所を中心に整備を進める。大門下野田地区については事業が始まったばかりなので進捗率は 4.4%。
- ・「みその都市デザイン方針」については、美園タウンマネジメント協会とみその都市デザイン協議会で策定を進めている。現在、パブリックコメントにより「みその都市デザイン方針」及び「美園スタジアムタウン憲章」の意見募集を行っている。今後、この方針により土地利用をうまくコントロールできればと考えている。

- ・「アーバンデザインセンターみその」(UDCMi)については、一昨年10月に開設して1年4カ月が経過した。今はまちづくりの拠点として「みその都市デザイン協議会」にも活用されている。これからも地元から愛される拠点としたい。
- ・「みその地域ポータルサイト」については、自宅のテレビに専用スティックを差し込むだけで総合生活支援サービスや地域の情報を簡単に手に入れられるサービス。環境局がスマートフォン用に開発したゴミ分別アプリも閲覧できるので、新しく引越してきた方もゴミ出しに困らない。
- ・マルチモビリティ・シェアリングについては、市内企業の技術を活用して、電動アシスト自転車のシェアリングを開始する予定。4月には超小型モビリティやEVについても提供していく。
- ・その他、宅配ロッカーの設置や自動販売機搭載型のフリーWi-Fiの設置も順次進めている。
- ・スマートホーム事業については、第一期33戸の整備が進んでおり、販売も順調だと聞いている。コモンスペースを活用した電線地中化手法について、レジリエンスジャパン推進協議会のレジリエンスアワードへのエントリーを予定しており、受賞できれば本市から発信した新たな技術として国内外にアピールできる。
- ・特区事業については、3年間延長する方向で内閣府と協議を進めている。浦和美園地区の成長発展に資する取組の一つとしては、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて競技会場のある大宮・さいたま新都心地区と浦和美園地区を結ぶEVバスシステム導入の検討に着手する。平成31年には実証運行を開始したい。EVバスは、災害時には非常用電源としての役割を果たすハイパーエネルギーステーションして、本市のレジリエンス性の向上にも寄与すると考えている。

## ■岩槻駅周辺地区について

- ・岩槻区内におけるイベントの来場数が平成27年度、28年度と減少傾向である。減少の一番の原因は天候の影響であったと考える。岩槻まつりは猛暑の影響、さらには大人神輿を実施しなかった影響も出ている。引き続き関係団体等に来場者増に向け働きかけていく。
- ・岩槻まつりのメイン会場である旧岩槻区役所敷地が、人形博物館の建設に伴い、早ければ今年の夏頃から使用できなくなる予定。ジャンボ雛壇をどこに設置するかなどの問題を実行委員会事務局である商工会議所を中心に検討を開始している。区も情報提供などを通じてできるだけ支援したいと考えている。
- ・他のイベントについても来場者増に向けて、内容等の改善・工夫などを通じてマンネリ化しないよう努めたいと考えている。
- ・にぎわい交流施設の進捗状況については、人形博物館所管局とも連携しながら関係各団体からヒアリングを実施しており、その中では回遊を促す機能、岩槻の歴史的背景を含めた特徴を生かした機能を求める意見が多かった。先月25日までに一連のヒアリングを終了し、にぎわい交流施設の機能配置について今後方向性をまとめる段階。来年度には基本構想、基本計画をまとめ、岩槻人形博物館と同時のオープン



を目指したい。

- ・観光案内所については、岩槻駅の東西自由通路上に3月下旬の開所を目指しているが、2月下旬から「まちかど雛めぐり」、「流し雛」などが開催されるため、正式オープン前のプレオープンも考えていきたい。観光案内所を運営する公益社団法人さいたま観光国際協会と連絡調整しながら準備を進めている。
- ・多言語関係の対応については、浦和駅周辺、岩槻駅周辺、浦和美園駅周辺を多言語の重点エリアに設定し、多言語化の現状調査に着手している。岩槻駅周辺エリアは東口の岩槻郷土資料館、遷喬館、岩槻城址公園を含むエリアを調査区域とし、案内サインの設置状況や公共施設を中心とした多言語化の状況を調査している。調査結果については、年度内に関係部局にフィードバックしたいと考えている。
- ・歴史街道事業は、岩槻まちづくりマスタープラン、まちづくりアクションプランに位置付けられているが、歴史街道としては市宿通り、久保宿通り、裏小路と3つある。このうち裏小路については、昨年2月に「裏小路まちづくり協議会」が設立され、まちなみルールの素案について検討が重ねられている。本年度内に素案を取りまとめる予定。検討の様子は「裏小路まちなみづくりニュース」で地域の方にお知らせしている。
- ・岩槻駅舎の整備については、年度内に終了する予定。特に「まちかど雛めぐり」までに東口階段をオープンする予定で進めている。

#### ■岩槻区の定住人口増等の方策について

- ・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で、いかに子育て世代など若い世代に住んでもらえるか検討を進めている。まちづくりを進める中で子育て環境をどう整備するか、保育園だけではなく幼稚園の受け入れ、あるいは放課後児童クラブの整備状況等を共有してほしい。情報を発信するうえでも、子ども未来局にも参加してもらい、「子育てウェブ」などを活用しての情報発信が必要でないかと考えている。
- ・岩槻駅舎の改修等で関係を築いている東武鉄道沿線の広い範囲に、さいたま市のチラシなどを置かせてもらうのはどうか。都市戦略本部には東京事務所やシティセールス部もあるので、連携しながら色々できるのではないかな。
- ・ビジット・ジャパンの予算は都市戦略本部で補助金を計上中。国を代表する方が来られるので、相当発信力があると思う。そうした方にお雛様の衣装を着て雛壇に並んでいただくことにより、空いた時間で何らかの発信をしてもらえるのではないかな。開催まで期間があるのでシティセールス部を含め検討をする。
- ・岩槻区への転入状況の分析や、どの地域をターゲットにどう働きかけたら転入してもらいやすいかということを検討したらどうか。
- ・岩槻駅西口への人口の張り付きはかなり必要性が高いため、取組をする必要がある。
- ・今のところ中間駅と岩槻駅周辺があまり良い状況にない。シミュレーションに反映されていないと思うが対策をとったらどうか。
- ・岩槻駅西口区画整理事業については、基盤整備は粛々で行うが、最終的には地権者に土地利用を図っていただくのが非常に大事。駅前なので土地利用が図れば受け皿と

しては非常に良い場所と考える。

- ・資料には地権者を対象とした土地活用セミナーについての記載もあるが、区画整理では地権者とのつながりが多いため、常日頃から地権者の意向を把握しながら事業を進めていくべきと考える。
- ・「にぎわい創出検討ワーキンググループ」において、岩槻区にはどのような特性があるのか、どこから転入してきているのかなどの勉強会を開催した。
- ・岩槻駅周辺地区へは、隣の春日部市、見沼区から転入してくる人が多い。浦和美園駅周辺地区へは、緑区、川口市、草加市、越谷市からが多い。遠方からでなく、近くから移動していることが分かっている。
- ・ターゲットを絞りどこにPRするのがよいのか、浦和美園駅周辺地区と岩槻駅周辺地区を分けて考えることも必要。「にぎわい創出検討ワーキンググループ」の中でこれからも検討していきたい。
- ・岩槻まちづくり事務所で岩槻駅西口の地権者を対象に土地活用セミナーを銀行の方を講師に招いて行う。こうしたできる取組は早速でも進めていきたいと考える。
- ・岩槻のまちづくりについては、岩槻対都内だけで考えると厳しいが、大宮と密接になることで人口増や機能拡充が図られることもあると考える。
- ・都市マスタープランを含め、岩槻へ人が張り付きやすいようにすることを考えていないと厳しい。
- ・人口増については岩槻区に限らず、本市全体でも平成 37 年をピークに減少に転じると言われている。岩槻区で定住人口を増やす、あるいは維持することは難しい問題ではあるが、全市的なモデルケースになるのでしっかりと取り組む必要がある。定住人口を増やすことは地下鉄 7 号線延伸にもつながるので、関係局で協力し実現についてしっかり追求してほしい。

#### (4) 座長より会議の総括(今後の取組方針)

- 浦和美園駅周辺地区は、都市基盤整備やアーバンデザインセンターみその、みその都市デザイン協議会など順調な取組を更に加速させること。
  - 岩槻駅周辺地区は、(仮称)岩槻人形博物館等の整備を契機ととらえ、周辺の回遊性を高めるための環境整備を関係局が連携して取り組むこと。また、イベントによる交流人口及び定住人口の減少をくい止める効果的な方策についても引き続き検討すること。
  - 成長・発展プランの成長目標は、平成 29 年度までであるため、目標やスケジュール等を見直し、効果的なプランに改定すること。
  - 浦和美園駅周辺地区についてはビジョンが固まってきたが、岩槻駅周辺地区は副都心としてのビジョンが見えにくいいため、関係局で密接に連携し検討すること。
- ・本日出席の局長、区長は、関係する所管の作業部会の委員にこの取組方針をしっかりと伝え、庁内の連携に努め、積極的に検討するよう指示すること。

【事務局】都市戦略本部 東部地域・鉄道戦略部